

抗がん剤療法

プロトコール登録名称	TCH+P療法
------------	---------

【プロトコール内容】

	薬剤名	投与量	投与経路	投与時間	投与日	標準投与量
Rp1	生理食塩液	50 mL	メイン1	ラインキープ用	1日目	
Rp2	パージェタ	840 mg	メイン2	初回60分 2回目以降30分	1日目	初回840mg/日 以降420mg/日
		420 mg				
	生理食塩液	250 mL				
Rp3	トラスツズマブ	mg	メイン2	90分	初回 1日目	初回 8 mg/kg
	注射用水	mL				
	生理食塩液	250 mL				
Rp4	トラスツズマブ	mg	メイン2	30分	2回目以降 1日目	以降 6 mg/kg
	注射用水	mL				
	生理食塩液	250 mL				
Rp5	パロノセトロンバッグ0.75mg	1 袋	メイン1	15分	1日目	
	デキサート注6.6mg	0.5 V				
Rp6	ドセタキセル注	mg	メイン2	60分	1日目	75 mg/m ²
	5%ブドウ糖液	250 mL				
Rp7	カルボプラチン注	mg	メイン2	60分	1日目	AUC 6
	5%ブドウ糖液	250 mL				
Rp8	生理食塩液	50 mL	メイン1	ウォッシュアウト用	1日目	
	ホスアプレピタントcap125mg	1 錠	経口	化学療法開始前	1日目	
	ホスアプレピタントcap80mg	1 錠	経口	朝食後	2,3日目	
	デカドロン錠	4 mg	経口		(2,3日目)	

パージェタは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可能。

トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可能。

※初回はinfusion reactionの発現回避目的として前投薬(カロナール500mg/回)を考慮

【期間】

1サイクル21日